

第 1 号



地域連携だより

善通寺市では在宅医療・介護連携推進事業において、医療と介護を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう多職種連携を推し進めているところです。地域連携だよりは、医療・介護に携わる職種の皆様への情報提供と、今後のつながり作りに役立てていただけたらとの思いを込め、作成しました。

在宅医療・介護連携研修会を 善通寺市で初めて開催！

善通寺市地域包括支援センターでは、9月27日、在宅医療・介護連携研修会を開催しました。この研修会は、その名の通り、医療・介護それぞれの専門職種が集まり、現場でのスムーズな連携を図ることを目的としたものです。今回は、第1回目の開催ということだったのですが、48名の参加者にお集まりいただきました。医師会、歯科医師会、薬剤師会、四国こどもとおとなの医療センター、各介護事業所の皆様、お忙しい中ご参加いただき、本当にありがとうございました。

会は、まず初めに田所久徳先生のご講義で在宅医療・介護連携の意義や善通寺市の特徴等についてお話しいただきました。その後の自己紹介や名刺交換、チーム知恵の輪ゲームではみなさん大変盛り上がり、参加者同士の距離がぐっと縮まったようでした。グループワークでは、「連携について日頃の業務で困っていることとその解決策」のテーマで話し合い、それぞれの思いを出し合うことで、お互いの職種や職場、その人の考え方についての理解が深まるとともに、参加者自身の振り返りをすることもできたとの意見が多数ありました。

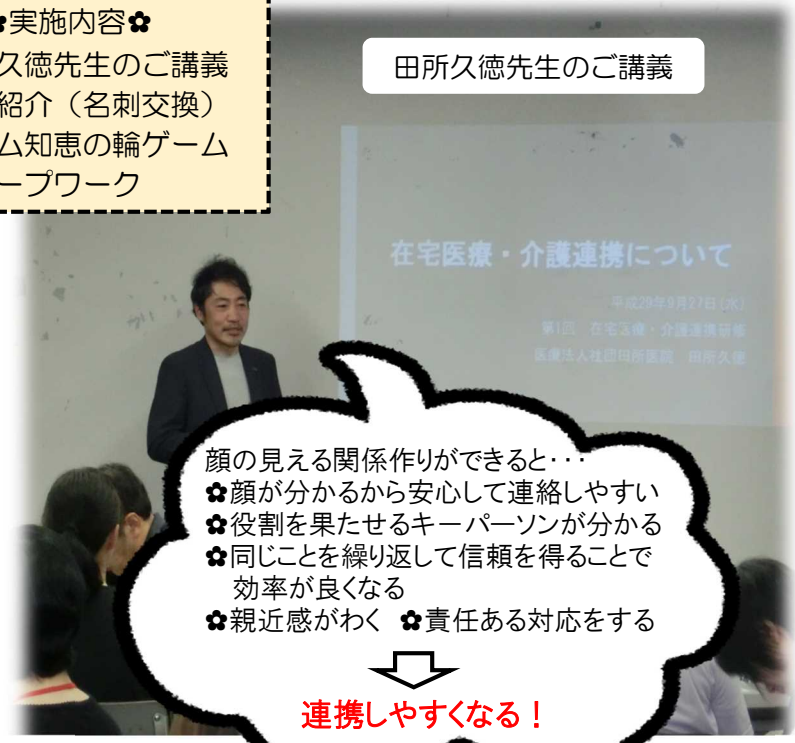
多職種のみなさんが集合



❖実施内容❖

- ① 田所久徳先生のご講義
- ② 自己紹介(名刺交換)
- ③ チーム知恵の輪ゲーム
- ④ グループワーク

田所久徳先生のご講義



<田所久徳先生のご講義より>

- ★在宅医療・介護連携の核は、多職種が患者さん・利用者さんを中心に連携していくこと
- ★善通寺市の人口 10万人当たりの在宅支援診療所の数は全国平均の2倍、在宅支援病院の数は3倍、介護施設の数も多く、比較的資源に恵まれている
⇒だからこそ、**多職種連携が必要!!!**
- ★多職種連携により、多分野の人々が共通言語を持って人々を健康にし、社会を健康にするという目標に向かって、同じ土俵で議論できることで、新たなシステムを生み出すことができる。
- ★そして、多職種連携には**顔の見える関係作り**が不可欠

顔の見える関係作りができると・・・
❖顔が分かるから安心して連絡しやすい
❖役割を果たせるキーパーソンが分かる
❖同じことを繰り返して信頼を得ることで効率が良くなる
❖親近感がわく ❖責任ある対応をする

連携しやすくなる！

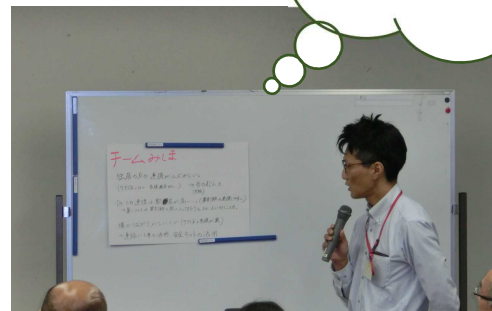
グループワーク 話しても話し足りないぐらいいろいろな意見が出ました

顔を合わせて話せば
普段聞けないことも
気軽に聞けた！

多職種で話した方が
悩みが解消されやすい
ことが分かった！

病院や薬局では家の中の様子
までは分からないけど、訪問し
ている職種に聞くことで状況が
よく分かった！

職種によって相談しやすい
職種が違う・・・敷居の高い
医師もまず薬剤師を介せば
相談しやすいかも！



アンケート結果

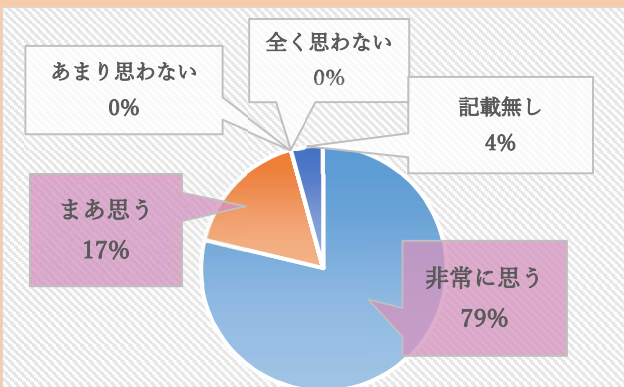
アンケート回収率：95.8%

ご協力とたくさんのご意見をありがとうございました。

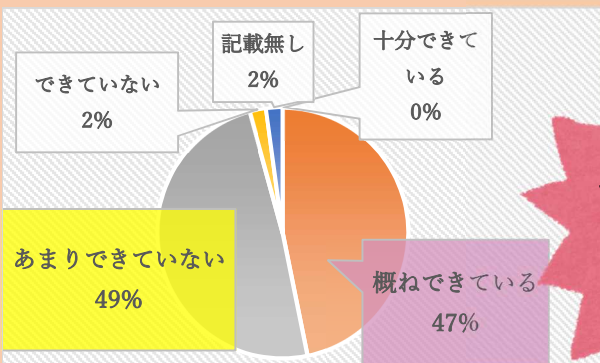
Q. 在宅医療・介護連携は必要ですか？

研修に参加してみたの感想・ご意見

- ❖顔見知りができて良かった！
- ❖職種別にいろんな悩みや問題点、視点が違うところが多く、勉強になった
- ❖研修会に積極的に参加して横のつながりを深めていきたいと思った
- ❖多職種の方々と話をして、悩みや問題がみなさんもあることが分かりほっとしました
- ❖新しい情報や手段が見つかった
- ❖今後の活動に大変役立ちそう
- ❖もっと会える機会がほしい



Q. 病院や介護施設等との連携はできていますか？



顔を合わせて
話すことが
何より大事！

連携をスムーズに進めていく上での課題

- ❖顔の見える関係・相談しやすい環境作り
- ❖他職種の役割への理解
- ❖組織間の連携体制の構築

今年度中に、次回の研修会を予定しております。
これから、より良い研修会を目指して準備しますので、
皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

善通寺市地域包括支援センター（高齢者課内）
TEL (0877)63-6364 FAX (0877)63-3778
Mail houkatsu@city.zentsuji.kagawa.jp